

2024年12月20日

横浜ゴム、タイ天然ゴム公社と共同で天然ゴム農家を継続支援 8回目のセミナーイベントを開催

横浜ゴム（株）は2024年12月、タイ天然ゴム公社（Rubber Authority of Thailand : RAOT）^{※1} スラタニ支局と共同で、タイの天然ゴム農家に対し、天然ゴムの品質および生産性向上に向けたセミナーイベントを開催しました。

※1：タイ農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Cooperatives: MOAC）管轄下の組織

今回のセミナーにはスラタニ地区の50戸の農家が参加。天然ゴムの苗木の選択や植え方に加え、肥料を与えることの目的と効果や天然ゴムへの異物混入防止の重要性などについて理解を深めていただき、天然ゴム公社の知見を活かした肥料を無償提供しました。セミナーに参加した農家の方々には今後年間を通じて、肥料の有無による天然ゴム物性の変化や調査サンプルとして選定した樹木が受ける季節要因の影響の追跡調査に協力いただきます。なお、2020年の初開催から8回目を数える本セミナーイベントは、タイ天然ゴム公社からも継続した取り組みに高い評価を得ています。

横浜ゴムは2020年1月、当社の「持続可能な天然ゴムの調達方針」に基づき、タイ天然ゴム公社と天然ゴム農家の経営支援およびサプライチェーンの透明性と健全性を確保するためのトレーサビリティの向上に協力していく覚書を締結しました。セミナーイベントは本覚書に基づき、農家支援の一環として当社の天然ゴム加工会社の Y.T. Rubber Co., Ltd. (Y.T.ラバー) が立地するスラタニ地区で開催しているものです。

横浜ゴムは、持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム（GPSNR^{※2}）に創設メンバーとして参画するとともに、2021年9月には従来の「持続可能な天然ゴムの調達方針」を改定し、GPSNRの活動との連携を強めています。今回のセミナーイベントは同方針に掲げられた「サプライチェーンに関わる方々への支援」を反映したもので、今後も同方針で定めた活動指標に沿った取り組みを実施し公表していきます。また、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおり、その一環として天然ゴムをはじめとした持続可能な原料調達に向けた活動を推進しています。

※2：GPSNR=Global Platform for Sustainable Natural Rubber

横浜ゴムはサステナビリティ・スローガンとして「未来への思いやり」を掲げ、事業活動を通じた社会課題への取り組みにより、共有価値の創造を図っています。



天然ゴムセミナーの様子（左）と提供された肥料の前で記念撮影をする農家の方々

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：高橋
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552